

一般社団法人日本神経精神薬理学会 第76回理事会（2021年度）議事録

日時：2021年4月17日（土）13：00～16：00

場所：Zoomを用いた遠隔会議

出席者（理事）：大隅典子、岩田仲生、池田和隆、尾崎紀夫、喜田聡、北市清幸、久住一郎、新田淳美、
橋本謙二、橋本亮太、服部信孝、古屋敷智之、宮川剛、山田清文、渡邊衡一郎

17名中15名出席

出席者（監事）：曾良一郎、吉岡充弘

出席者（委員長）：井上猛、森尾保徳、内田裕之、成田年、山末英典、吉尾隆

欠席者：糸川昌成、中込和幸、橋本均

オブザーバー：菊地哲朗

出席者（事務局）：目黒靖、我妻みなみ

議長：大隅典子

上記のとおり理事の過半数の出席があり、本会議は有効に成立した。

13:00～13:30

JSNP Excellent Presentation Award for CINP 2021 Virtual Congress オンライン授賞式の開催

I. 報告事項

1. 前回（第74、75回）理事会議事録の確認

大隅理事長より報告がなされ、承認された。

以下、提出資料に基づき、報告がされた。

2. 年会準備報告

a. 第51回年会（宮川年会長）

➤ 開催形式

現地とオンラインのハイブリット開催を想定（COVID-19の状況次第ではオンライン開催）し、口頭発表は現地およびZoomを用いたLive配信、ポスター発表は現地およびWeb抄録閲覧システム上でのポスターPDF閲覧形式を検討している。市民公開講演会は、日本神経科学学会「脳科学の達人」と連携し、三学会の合同開催とし、7月24日（藤田医科大学）に開催予定である。

現地での懇親会は見送り、Web上での開催を検討している。

➤ プログラム

特別講演4題、教育講演8題、市民公開講演会1題、シンポジウム21件（97演題）
一般演題（口頭59題、ポスター125題）、4月末よりLBAの受付開始。

b. 第52回年会（井上年会長）

➤ 参加者総数は2,000名予定。収支次第では、ハイブリット開催を検討している。

3. 各委員会報告

a. 執行委員会（大隅委員長）

➤ 委員会活動内容および事務局移転の報告がされた。

b.総務委員会（北市委員長）

- 昨年行うべきであった名簿調査の実施、会費細則の追加、名誉功労会員および評議員の慰留 4 名、海外在住者の会費支払い方法の検討がされている。
- 2020 年 11 月 9 日から 2021 年 4 月 6 日までの会員動向について以下の通り報告された。

会員数	名誉会員 32 名
	功労会員 55 名
	評議員 320 名
	一般会員 1,340 名
	学生会員 213 名
	法人会員 12 社
	新入会 56 名
	退会 43 名

c.財務委員会（池田委員長）

- 今年度（2021 年度）の予算状況が報告された。実態に合った予算に基づいて学会運営を行うため、予算要望を元に 7 月に来年度（2022 年度）予算案を策定するスケジュールが提案された。

d.倫理委員会（尾崎委員長）

- 「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」および「症例 報告を含む医学論文及び学会発表におけるプライバシー保護に関するガイドライン」を学会ホームページへ掲載予定である（4 月 22 日公開済み）。指針改定の際、年会での教育講演実施の検討が提案された。

e.編集委員会（宮川委員長）

- NPPR 論文掲載・投稿状況の報告がされた。

f.国際学術委員会（新田委員長）

- 2021 年 2 月 26-28 日 CINP Virtual World Congress が開催され、AsCNP2021 は 2021 年 10 月 22-23 日（オンライン）にて開催される。

g.広報委員会（古屋敷委員長）

- 学会ホームページ掲載内容ルールを定め、今年度中に学会ホームページのリニューアルを行うとともに、求人・助成金・イベント案内等をメール配信し、メルマガの創設を目指す。
- 学会ホームページレイアウトは、理事長および広報委員にて検討し、色見を評議員の多数決にて決定されることが承認された。

h.企画委員会（喜田委員長）

- NPBPPP2020 における教育講演動画を会員向けオンデマンド配信の準備を進めている。

i.学術賞選考委員会（糸川委員長、代理大隅理事長）

- JSNP Excellent Presentation Award for CINP 2021 Virtual Congress および鍋島賞の受賞者が報告された。
- 学術奨励賞や各団体の賞や助成金の募集案内を積極的に行う。

j.トランスレーショナル・メディカル・サイエンス委員会（森尾委員長）

- 評価バリエーション軽減検討に関して、予備試験（対面と遠隔地からの評価）が終盤に向かっており、予備試験にて高い一致度が得られた際、抗うつ薬による介入治験を実施し、中央評価の妥当性の検証を行う予定である。

k.薬事委員会（渡邊委員長）

- 日本精神神経学会と連携し、活動を進める。

l. EGUIDE 委員会（橋本亮太委員長）

- うつ病学会と日本臨床精神神経薬理学会と 3 学会合同委員会にて活動しており、講習会を 9 回（参加者 234 名）実施し、引き続き Web にて開催予定である。

m. COI 委員会（橋本謙二委員長）

- 報告事項なし

n. 中枢薬専門薬剤師あり方検討ワーキンググループ（吉尾委員長）

- 薬学領域の会員増加を念頭におき、日本精神薬学会と情報交換を行いながら活動を行う。

o. Nomenclature Working Group（内田委員長、代理大隅理事長）

- 活動報告がされた。

p. 統合失調症薬物治療ガイドラインタスクフォース（中込委員長、代理橋本亮太委員）

- ガイドラインの改定作業中であり完成までもう少し時間がかかる旨、2021 年末までに英文化をし、英語版を NPPR 等に投稿予定である。

q. クロザピン対応タスクフォース（橋本亮太委員長）

- 厚労省へ 2021 年 3 月 20 日に規制緩和のための要望書を提出した。

r. 会員交流促進タスクフォース（宮川委員長）

- 若手とシニアの交流や懇親会等を検討している。

s. 児童思春期神経精神薬理タスクフォース（山末委員長）

- 日本児童青年精神医学会や日本 ADHD 学会と情報交換をしながら活動を行う。

t. 不安症治療ガイドラインタスクフォース（井上委員長）

- 社交不安症ガイドライン推奨案を MINDS へ登録をし、年内の公開にて進めている。

u. 臨床神経薬理研究基盤構築タスクフォース（服部委員長）

- 精神科と神経内科研究者のブレインストーミング（オンラインにて科学シンポジウムや研究会、年会時）の開催を検討している。

v. 先端研究推進基盤構築タスクフォース（成田委員長）

- 製薬企業のニーズに関するアンケート調査を実施している。

II. 審議事項

1. 2021 年度会計中間報告について（池田財務委員長）

➤ 大隅理事長より意見を求めたが特になく、承認された。

2. 功労会員推戴の件（北市総務委員長）

➤ 候補者が以下の通り報告され、承認された。

荻田 喜代一

3. 新入会希望者承認の件（北市総務委員長）

➤ 2021 年 3 月 21 日から 2021 年 4 月 13 日までに、9 名の入会申込があったことが報告され、全員が承認された。

4. 細則「7 理事会運営に関する内規」の改定（北市総務委員長）

➤ 大隅理事長より意見を求めたが特になく、承認された。

5. 日本神経精神薬理学雑誌のバックナンバー販売について（北市総務委員長）

➤ 大隅理事長より意見を求めたが特になく、承認された。販売媒体および価格に関しては、今後検討を行う。

Ⅲ. その他

1. 第 53 回年会（2023 年）、第 54 回年会（2024 年）について

53 回年会は服部信孝先生、54 回年会は新田淳美先生が推挙され、全会一致で承認された。

2. 日本学会会議、日本脳科学関連学会連合について

尾崎先生より活動報告がされた。

3. 他学会との連携について

日本精神神経学会など他学会でのシンポジウム提案を組織的に行う可能性が議論され、企画委員会が担当することとなった。

以上

令和 3 年 4 月 17 日

一般社団法人 日本神経精神薬理学会 理事会

議長	代表理事	大隅典子
	出席理事	池田和隆
	出席理事	岩田仲生
	出席理事	尾崎紀夫
	出席理事	喜田聡
	出席理事	北市清幸
	出席理事	久住一郎
	出席理事	新田淳美
	出席理事	橋本謙二
	出席理事	橋本亮太
	出席理事	服部信孝

出席理事 古屋 敷 智 之
出席理事 宮 川 剛
出席理事 山 田 清 文
出席理事 渡 邊 衡 一 郎